

令和三年度 施政方針

令和三年度を迎えるに当たり、今後の市政運営に当たっての私の考えについて御説明申し上げます。

私の市長としての任期は、四年目を迎えます。この間、市議会議員の皆様をはじめ、多くの市民の皆様方の御理解、御協力の下、市政を進めることができましたことに對しまして、心から感謝申し上げます。

私は、昨年、「起承転結」で申しますと、「転」の年と申しました。本年は、「起承転結」で申しますと「結」の年となります。

そして、いよいよ、市議会の御理解もいただきながら進めてまいりました、防災の拠点であり、これからの本市の発展を担う新庁舎の建設に着手することになります。

また、本年は、阿弥陀寺を創建した重源上人の生誕九百年、毛利元就公の没後四百年となる本市にとって節目の年であり、東京オリンピック・パラリンピックが開催される年であります。

将来、今年、令和三年が、燦然と輝く都市・防府の起点の年であったと言っていただけのように、国難ともいうべき新型コロナウイルス感染症の危機を市民の皆様とともに乗り越え、新たな時代にふさわしいまちづくりへ大きく踏み出していく決意でございます。

本年度をスタートとする新たな総合計画は、市議会をはじめ、「明るく豊かで健やかな防府創出会議」、産業戦略本部など、様々な場で御意見を頂戴し、まさに市民の皆様と一体となって、ゼロから作り上げてきた計画でございます。

変化が速い時代に対応し、実行性を重視するため、長期的な展望を見据えた上で、計画期間を五年間とし、特に時代が求める施策については「重点プロジェクト」として掲げました。

こうした中、総合計画の初年度となる令和三年度の当初予算は、感染症対策は勿論のこと、六つの重点プロジェクト「安全・安心を第一にしたまちづくり」「未来を拓く子どもの育成」「健やかな暮らしを支える福祉のまちづくり」「活力ある中心市街地の形成」「強みを活かした産業力の強化」「恵まれた資源を活かした交流拡大」を中心に、今を乗り越え、本市の未来を切り拓くための大きな一歩を踏み出す予算として編成いたしました。

防府市には、昭和三十八年に制定された防府市民の誓い「明るいまちにいたしましょう」「豊かなまちにいたしましょう」「健やかなまちにいたしましょう」がございます。これは、防府の発展を願う決して変わることはない普遍的な思いであり、この度の総合計画においても、「明るく豊かで健やかな防府」の実現を目指すことにしております。

私は、この防府市民の誓いをしっかりと踏まえ、防府市のまちづくりに全身全霊を尽くしてまいります。

防府を愛する気持ちは誰にも負けないと思っております。

私自身が先頭に立ち、決して手を抜くことなく、避けることなく、この一年、スピード感を持って駆け抜けてまいりますので、引き続き、議員各位、市民の皆様の御理解、御協力を賜りますようお願い申し上げ、令和三年度の施政方針といたします。